

事業シート(平成30年度予算)

21_生活環境課1

事業名	41500 生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
			項	1	保健衛生費		施策概要	3	公害対策の強化	
			目	5	生活環境費		根拠計画			
担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2172							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な生活環境を確保する。 公害の発生防止、公害が発生した場合の被害の最小化。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査を随時実施する。 騒音の定期観測調査を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28		H29			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	5,990	3,801	3,980			
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金、公害委任事務費)	283	329	287			
その他()						
一般財源	5,707	3,472	3,693			
個票枝番	主な事業内容					
	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発	600	147	600		
	河川水質の定期調査	1,100	1,015	1,100		
	公害防止のための悪臭水質立入調査	770	140	770		
	土壌中放射性物質調査	700	739	700		
	快適環境づくり市民会議	480	214	480		
	自動車騒音常時監視及び面的評価(5年毎)	2,000	1,274			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額		4,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,394	3,980	3,980	0	
329	290	290	3	
5,065	3,690	3,690	△ 3	
査定額	説明			
600				
1,100				
770				
700				
480				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(46事業)と騒音の観測調査の実施した。(3か所) 自動車騒音面的評価及び騒音調査の実施した。(1回) 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。 高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(グリーンマーケット(1回)、グリーン作戦(2回)の実施)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。 大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 土壌中放射性物質調査の実施 高山市快適環境づくり市民会議による環境関連イベントの実施

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度予算)

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。 ・家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別意識の向上を啓発する。 ・ごみ処理券回収奨励金を交付し、ごみの減量化を図る。 ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を適正に実施する。 ・不適正処理(不法投棄・違反ごみ等)対策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	475g		467g
「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じている市民の割合	89.6%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28			H29		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	296,620	295,192	302,620			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(手数料・諸収入)	20,190	19,560	20,190			
一般財源	276,430	275,632	282,430			
個票枝番	主な事業内容					
	ごみ収集運搬業務	278,570	278,021	284,570		
	ごみ収集パトロール	3,500	3,317	3,500		
	無料可燃ごみ処理券回収奨励金	2,400	2,398	2,400		
	ごみ処理券・ごみカレンダー等の作成	9,950	9,453	9,950		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	303,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
300,290	302,820	302,820	200
20,062	20,190	20,190	0
280,228	282,630	282,630	200
査定額	説明		
284,570			
3,700			
2,400			
9,950			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績・評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別の啓発を行った。(啓発用冊子2,000冊作成、広報11回掲載) ・ごみ処理券回収奨励金を交付した。(62件、315,163枚回収) ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施した。(実施日数259日) ・ごみステーションに置かれた違反ごみを回収した。(随時) ・不法投棄対策を実施した。(パトロール延べ57日、通報等による出動11件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別調査の結果、可燃ごみの中に資源ごみが多く混入していたこと等から、ごみの減量化対策を強化する必要がある。 ・違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化に向けた具体的な対策(シール制状況調査、可燃ごみ分析等)を検討する。 ・委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。 ・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。 ・人口減少や少子高齢化など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。

5.平成29年度事業実績・評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・適正な収集運搬の実施

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度予算)

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。
----	---------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H28		H29			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		229,485	217,281	216,936			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(使用料・手数料等)	86,320	94,931	92,320			
一般財源		143,165	122,350	124,616			
個票枝番	主な事業内容						
	資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	130,008	129,578	120,000			
	久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	14,000	14,202	14,000			
	ごみ焼却施設の管理運営	82,636	73,501	82,936			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

H30		実施計画額		190,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
447,116	390,036	390,036	173,100	
92,161	91,720	91,720	△ 600	
354,955	298,316	298,316	173,700	
査定額	説明			
265,000	施設延命化分の増			
42,000	施設延命化分の増			
83,036				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・ごみの焼却処理及び維持管理を実施した。 資源リサイクルセンター焼却日数 338日間 久々野クリーンセンター焼却日数 151日間 ・設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。
評価等	・廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。 ・焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。 ・老朽化している焼却施設の性能維持と延命化のために、長期修繕計画の見直し及び性能保証の延長が必要である。 ・可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度予算)

事業名	42215	ごみ処理施設建設事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・広く住民の理解を得てごみ処理施設建設を進めるため、必要な調査等を行う。
----	---------------------	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H28		H29			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)							
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源							
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	新ごみ処理施設環境影響調査						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

		H30	実施計画額	70,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
	36,300	36,300	36,300	
	36,300	36,300	36,300	
査定額	説明			
36,300	環境影響調査、技術的助言			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・新ごみ処理施設の整備
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度予算)

事業名	42215 ごみ処理施設建設事業費	区分	<input type="checkbox"/> H29新規	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	会計	1	一般会計	担当課	環境政策部 生活環境課		
			<input type="checkbox"/> H29拡充	<input type="checkbox"/> H30拡充	款	4	衛生費				
枝番・内容	1 新ごみ処理施設環境影響調査		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	2	清掃費			内線	2960
			<input type="checkbox"/>		目	2	塵芥処理費			作成年月	H30.1

事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・広く住民の理解を得てごみ処理施設建設を進めるため、必要な調査等を行う。必要な調査等を行う。
----	---------------------	----	--

【参考】H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

H30当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	36,300
主な経費	・調査等委託料 ・技術的助言謝礼、旅費	
	対前年度増減額(当初予算)	
		36,300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・環境影響調査 ①前提条件の設定 ②現況調査の実施 ③環境影響の分析 ・技術的助言	
[スケジュール]	
・H30年7月～H31年6月 環境影響調査	

事業シート(平成30年度予算)

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部	生活環境課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止などによる安全な埋立て処理を実施する。	概要	・廃棄物の埋立処理を実施する。 ・汚水処理施設を維持管理する。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28		H29			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	58,090	53,403	66,340			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(使用料・手数料等)	26,012	26,575	27,012			
一般財源	32,078	26,828	39,328			
個票枝番	主な事業内容					
	埋立処分地の管理運営	49,440	46,234	54,340		
	第1次埋立処分地跡地活用に向けた調査	8,650	7,169	12,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額		47,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
73,397	47,260	47,260	△ 19,080	
26,600	26,612	26,612	△ 400	
46,797	20,648	20,648	△ 18,680	
査定額	説明			
45,260	第2次浸出水ろ過器更新等の減			
2,000	汚水処理施設改良の減			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業を実施した。(310日) ・設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。 ・第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査(ボーリング等)を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散がない、適正な埋立処分を実施した。 ・可燃性粗大ごみを破砕し焼却することにより、埋立量を減量して埋立地の延命化を実施した。 ・近年、災害で発生又は家庭や事業者から搬入された可燃性粗大ごみにより、埋立地に仮置きしている粗大ごみが増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理を実施する。 ・可燃性粗大ごみの処理方法を検討する。 ・事業者に対する埋立ごみの搬入制限や破砕機による埋立量の減容化等による埋立処分地の延命化を継続して実施する。 ・調査結果を踏まえ、第1次埋立処分地の有効活用を検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・埋立関連施設の適正な維持管理

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度予算)

事業名	42240 資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
			項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理	
			目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化を図る。 排出された粗大ごみ等を再使用し、ごみの減量化を図る。 資源の循環により循環型社会の形成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置に対し補助する。 粗大ごみ等のリフォーム及びびりフォーム製品フェアを開催する。 ごみの出し方と分別及び資源化の啓発並びに資源ごみの集団回収の奨励を行う。 資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正な稼働を行う。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
家庭系ごみの資源化率	30%		30%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28		H29			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	159,439	147,937	160,778			
特定財源						
国費()						
県費(産業廃棄物立入検査事業費)	10	1	10			
その他(物品売払収入等)	12,900	20,948	12,900			
一般財源	146,529	126,988	147,868			
個票枝番	主な事業内容					
	資源回収団体奨励金	11,159	8,471	12,000		
	資源リサイクルセンター施設の維持管理	13,788	13,247	13,578		
	不用品リフォーム	3,500	3,348	3,500		
	廃棄物資源化の委託	129,992	122,722	130,700		
	家庭用生ごみ堆肥化装置設置に対する助成	1,000	149	1,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	167,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
193,070	164,678	164,678	3,900
5	10	10	0
12,659	12,400	12,400	△ 500
180,406	152,268	152,268	4,400
査定額	説明		
11,000			
14,578			
3,900			
134,200			
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置補助金を8件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。 リフォーム製品フェアを21回(支所開催含む)開催し、420個を販売した。 小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(212 t) 資源回収事業での奨励金を79団体に交付した。 収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(52日開設)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみの分別収集運搬から選別保管までを委託し、効率化・省力化を図るとともに、ごみの減量化と再使用及び資源化の推進により、循環型社会形成に継続して努めた。 缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。 びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源化率は維持されている。 リフォーム製品フェアの開催は高山地域及び全支所地域で行っており、一定の周知が図られている。 生ごみ堆肥化装置の設置促進のため、H29年度からの補助対象者の見直しを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化や資源化のため、生ごみ処理の推進や資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。 不燃ごみから鉄類などを選別し、資源化することを徹底して実施する。 民間企業による資源物回収量の把握に努める。 市内全地域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。 多様なリフォーム製品を揃えるなどにより、利用者の拡大を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置の促進 集団回収の奨励 日常生活から出される資源ごみの再資源化

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに